

「都市・住宅団地の再生に関する調査研究」発表会

[主催] (財)アーバンハウジング

[後援] 国土交通省

○東京会場

(1)「オランダの都市づくり・住宅地づくりとその実践的手法に関する調査研究」発表会

[日時] 平成22年10月7日(木) 18:30~21:00

[会場] 霞が関東海倶楽部(霞が関ビル35階)

[内容] 発表者: 座長 稲垣 道子 (株)フェリックス代表

委員 後藤 和子 埼玉大学教授

松本 暢子 大妻女子大学教授

星野 賢一 プラウドー級建築士事務所

オランダの都市政策・住宅政策には、わが国のこれからの都市再生・団地再生を考える上で学ぶべき点が多い。九州とほぼ同じ大きさ(人口、面積とも)の国土の主要部は、グリーンハートと呼ばれる広大な緑地(農地)を囲む環状都市ラントシュタットの考え方が基本フレームとなっており、コンパクトなまちづくりと、緑・水の環境の調和がよくはかられている。ここではオランダに詳しい専門家等により、この分野でEUを牽引する活躍等注目すべき諸点について発表する。

(2)「代表的計画市街地・川崎市河原町高層住宅団地の変遷に係る検証および将来の展望に関する研究」発表会

[日時] 平成22年10月27日(水) 18:30~21:00

[会場] 霞が関東海倶楽部(霞が関ビル35階)

[内容] 発表者: 代表 小林 正美 明治大学教授

副代表 園田 真理子 明治大学教授

1970~74年に建設・開設された川崎市河原町高層住宅団地について、当初の計画理念と設計から、当該団地が経年していくプロセスでの問題、現況および将来展望について、①計画当初の理念と設計、②1990年代に顕著であった共用空間における人為的環境破壊行為(ヴァンダリズム)の発生、③経年する過程での共用空間の維持・管理の変遷と現況、④河原町団地の今、⑤近未来にむけた団地再生の方向性について調査・研究した内容を発表する。

○大阪会場

(3)「代表的計画市街地・芦屋浜高層住宅地区の検証と次代への展望に関する研究」発表会

[日時] 平成22年10月19日(火) 18:30~21:00

[会場] 大阪弥生会館

[内容] 発表者: 代表 江川 直樹 関西大学教授

岡 絵理子 関西大学准教授

鳴海 邦碩 関西大学特別任用教授

橋寺 知子 関西大学准教授

芦屋浜高層住宅地区は、コンペ時から約40年近く、竣工からでも30年が経過した。ここでは、調査研究の内容の内、①集住を巡る次代への検証と証言から、②1970年代における阪神地域の埋立都市開発を巡る状況に関する考察、③提案競技入選作品の特徴と意義、④芦屋浜住宅地区のこれまでと展望について発表し、加えて高層住宅とはいったい何だったのか、これからどうあるべきなのか等についても考えるひとつのきっかけを提起したい。